



調布市文化の底力

調布市生活文化スポーツ部次長 深沢 典充

昨年は、世界的なパンデミックとなった新型コロナウイルス感染症の影響により、市民の皆様の様々な活動や行動が制限されるなど誰も経験したことがないような未曾有の事態に陥り、非常に大きな変化があった一年となりました。

そのような状況下において、例年多くの市民や団体の皆様が楽しみにしている「市民文化祭」においても大幅な変更を余儀なくされ、開催に向け大変苦慮されたことと拝察します。そうした中、きめ細かな感染症対策や様々な工夫を凝らすことで、安全で安心に開催していただきましたことに心より感謝申し上げます。

特に、参加者数の制限はもとより、新たな試みとして、オンラインによる展示作品の紹介や各団体の発表内容(ダイジェスト版)の配信等の取組は、これまで来館が困難であった高齢者や障害者、遠方の方等においても文化祭が楽しめるような環境整備が図られ、文化祭のアクセシビリティを高める契機となったものと認識しております。

多くの自治体の文化祭が中止になる中、貴会のご尽力により、調布市民の文化活動を絶やすことなく、新たな手法を取り入れ安全に文化祭を開催できたことは他の自治体の先駆けとなったのではないのでしょうか。

これも偏に、調布市文化協会の皆様方による日頃からの活動で得られた連携力や組織力、並びに、文化活動推進に向けた想い等によるものであると大変心強く感じております。そのような貴会の取組や熱意、五十年余にわたる様々な活動が認められ、昨年十月の「東京都文化功労賞」受賞につながったものと大変喜ばしく感じております。

調布市は、平成二十七年に「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」を発出し、子どもから大人まで、女性も男性も、そして障害の有無にかかわらず誰もが、生涯を通じて、文化・芸能をはじめ、演劇・美術・音楽・映画等に親しみ、さまざまな活動を楽しむことができるよう取り組んでおります。

コロナ禍による影響が未だ先行きの見えない状況の中、多くの市民が様々な不安を抱えていることと存じます。こういうときだからこそ、文化の力を発揮し、調布市民に活気や感動、安らぎをもたらすことができよう、今後とも、芸術文化活動を育むまちづくりのパートナーとして、ともに調布の文化の振興と発展に寄与していただければ幸いです。

第55回 定期総会

第55回定期総会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為に開会されず、書面表決にて行われました。

内容は次の通りです。

第1号議案 二〇二〇年度事業報告

第2号議案 二〇二〇年度

(1) 一般会計決算報告

(2) 会計監査報告

第3号議案 (1) 文化協会役員の承認

副会長3人

(2) 文化協会役員の役職名

一部変更

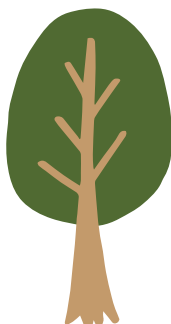
第4号議案 二〇二一年度

事業計画(案)

第5号議案 二〇二一年度

一般会計予算(案)

賛成多数により1号議案〜5号議案が承認されました。



調布市文化協会 二〇二一年度役員

〔会長〕

加藤 弘子 (民謡舞踊好友会)

〔副会長〕

齋藤 泰子 (工芸美術協会)

横山 美紗子 (歌謡同好会連盟)

大内 輝雄 (民謡連盟)

〔事務局長〕

齋藤 泰子 (工芸美術協会)

〔事務局次長〕

榎本 和江 (いけばな連盟)

〔会計〕

粕谷 和子 (書道連盟)

峯岸 誠 (歌謡同好会連盟)

〔庶務〕

田代 せつ子 (三曲協会)

平野 美樹 (民謡舞踊好友会)

村田 由美 (民謡舞踊好友会)

黒岩 慧美子 (工芸美術協会)

富田 雅美 (洋舞協会)

井上 正昭 (民謡連盟)

〔会計監査〕

鈴木 ゑみ (大正琴連盟)

浅野 修一 (いけばな連盟)

実 技 講 座

囲碁連盟

囲碁入門

調布囲碁連盟 木村 裕

今年も恒例となりました実技講座を五月二八日、六月一八日に文化会館たづくりで初心者コースを基にして実施いたしました。

しかし新型コロナウイルスのしわ寄せで人数は期待通り集まりませんでした。囲碁の他にも似た遊びにマージャン、チェス等があげられますがこれらに共通するのは遊び方、即ちルールの使い方を覚える事があります。

どうぞ囲碁対局でお楽しみ下さい。



奇術協会

初めてのマジック

調布市奇術協会 岳野 勝治

皆さんの参加の動機は「孫に見せたい」「老人会で」「職場のかくし芸」「ボランティア時の色物に」等々

立ち位置も動機も年代もそれぞれでしたが、一生懸命学ぼうとする姿勢は充分でした。

二日目も欠席者は無く、更に二名の参加を得て初日とは打って変わって和やかな雰囲気の中、前日の復習と、新たな演目に、今回は特に目的意識があるようで演技習得に意欲的でした。



美術協会

旅のスケッチ

デモンストレーションと実践

調布市美術協会 鈴木 新

調布市にお住まいの方には馴染み深い桜が咲く美しい野川の景色を題材としました。

先ず手順と混色の方法などご理解頂くため十五号大の用紙にデモンストレーションを行いました。

後半は受講生が四く六号サイズの紙に思い思いの絵を描き、ほぼ完成することが出来ました。

最後の講評では一枚ずつの絵に今後の参考になるようアドバイスをし、熱心な質問も飛び交い熱のこもった講座となりました。

たづくり休館のため第一回目講座が中止になったが、もう一度講座を開いて欲しいとの声も多く寄せられました。



工芸美術協会

袋もの

調布工芸美術協会

大山 雅子



五月三十一日、六月七日、十四日の三回に渡り、龍村の名物裂写しの布を使った祝儀袋入れと、

口金付の小物入れを製作しました。

緊急事態宣言が延長された中、開催が危ぶまれましたが、何とか開催する事が出来ました。

十四名の申し込みの中、欠席が二名あり、十二名で始まりました。皆、手仕事に関心のある方が多く手際良く作品を作り上げて行きました。

口金を入れるのには、少々苦戦した様でしたが、「ガマ口の財布はこうして作られているんですね」と納得顔でした。

出来上がった作品を手に、満足顔で、「とても楽しかった」と笑顔で終了する事が出来ました。

歌謡同好会連盟

カラオケ実技講座 初級 中級

調布市歌謡同好会連盟

嶋谷 隆治



今回の講座はコロナ禍の中でのカラオケ実技講座でありましたので、三密防止の点から参加人を多数募集出来ずに十名

に止め会場入室時にマスク、検温、手指アルコール、フェイスシールド、等の使用を条件に実施しました。

内容

- (1) 発声の為の準備運動、響く声の出し方
- (2) 譜面の読み方
- (3) 課題曲の詞の意味と感情表現を重点に先生のピアノに合わせて反復歌唱。全二回の講座で初見の歌を無事に修得出来ました。

喜びを最後に全員で二回合唱して終了致しました。

いけばな連盟

花と遊ぶ

調布市いけばな連盟

鈴木 康子

コロナ禍、緊急事態宣言延長の最中、昨年度の実技講座は中止になり、今年も五月十一日は中止、五月十八日にやっと開催の運びとなりました。申し込み後に、やはりコロナが怖いからと断る人もいましたが、定員十五名、和みの中、バラやカーネーションの愛らしい花々、テーブル花を作成し、持ち帰って頂きました。参加者の人達から、レッスンを設けてほしいと、うれしいお声を頂いたり、いけばな連盟としての新しい活動を考えなければと役員で話し合う有意義な会でした。

中止か催行か文化協会の方々にもお気を煩わせましたが、一度でも無事に終える事が出来ました事に感謝、ありがとうございました。



民謡連盟

第五十一回民謡発表会

調布市民謡連盟

会長 近藤 栄市

延期で始めた発表会「調民」民謡は心のふるさと、日々の暮らしの中から生まれ、私達が育んで来た宝物です。

音響の素晴らしい「くすのきホール」で発表できる一市民の優越感、発表当日（無観客）はコロナ感染に対し三密、私語、マイク使用に注意し、特に調布市のコロナ感染防止ガイドラインに従い実施致しました。

秋の文化祭には、ワクチンの普及によりまして、安心な発表会が出来る事を望んでおります。



二〇二一年度9月以降
実技講座実施予定

初心者吟詠講座

調布市吟詠詩舞道連盟

実施日 9月11日(土)

9月18日(土)

9月25日(土)

時間 13時～16時30分

会場 10F 100一学習室

親しみやすい黒田節

花笠音頭の講習

調布市民謡連盟

実施日 9月18日(土)

9月25日(土)

時間 13時～16時

会場 B2F第一・第二音楽練習室

皆で楽しく踊りましょう

調布市民謡舞踊好友会

実施日 10月5日(火)

10月12日(火)

時間 10時～12時

会場 10F和室「百日紅」「なごみ庵」「花水木」

第66回

調布市民文化祭のご案内

開催期間

10月14日(木)～11月14日(日)

今回のテーマ

「明日へ響け 文化の鼓動」

10月14日(木) 18時より「くすのきホール」で開会式。

「アトラクション」は大塚百合業さんのバイオリン、安宅薫さんのピアノ演奏を予定しております。

プログラム

主な曲目

- クライスラー 愛の喜び
- クライスラー 美しきロスマリン
- 中田章、山下康介編 早春賦
- 山田耕作、渡辺俊幸編 赤とんぼ
- その他ございます。

10月16日(土)～17日(日)「文化フェスタ」は、エスベラント会・アマチュア無線クラブが調布駅前広場にて開催、また展覧・展示・大会発表がそれぞれの会場で開催いたします。

10月30日(土)～11月7日(日) (11月1日(月)休館)

東部・西部・北部各公民館で、地域文化祭がございます。

※新型コロナウイルス感染症の影響により変更の際は予めご了承ください。

編集後記

早急に過去の文化、明日への文化を取り戻したい、コロナ禍で十二分の發揮ができません。

ワクチンの普及により、一日も早い終息を願うばかりです。

今回の会報(一頁)は文化・芸能に對し力強い「寄稿」頂き掲載しました。参考にとお思います。

実技コーナーでは実施報告文と写真を載せました。コロナ禍でありまして行事の中止もあり四頁の会報となりました。

今年の文化祭テーマは、「明日へ響け 文化の鼓動」です。

会報に寄稿頂いた皆様ありがとうございました。

担当 大内 村田 富田 井上

